

「受験日当日」 高2 Tさん (高校推薦入試)

入試当日の朝は、意外とリラックスして迎えることが出来ました。いつもと変わらない様子で家を出発し、受験生用スクールバスに乗り込み学校に向かいました。バス内の他の受験生の様子を見ても、テキストや単語帳を軽くは見ているものの、ほとんどの生徒がそれまでの努力に自信を持ち、不安よりもやる気に満ちあふれた表情をしていた気がします。

しかし学校に着いて教室に向かい、試験官の先生が入室したところで、教室が独特な雰囲気になりました。「それ」は、私はこの文章では表せません。中学での定期考査や模試では体感できない、受験ならではの空気感です。「ついに始まるのか…」と、これから始まる受験への覚悟を決めました。そして試験官の合図で、1教科目の国語がスタートしました。

50点満点ではあるものの、やはり国語は文章が長く、漢字も一般入試とほぼ同じレベルで出題されていました。ですが、内容は比較的分かりやすかったです。ずっと目標にしてきた受験の1教科目ということで、いかに緊張や焦りを抑えて文章を読めるかがキーだと思います。2教科目の英語は文法・長文・リスニング全ての問題が出題されましたが、こちらも読解問題に関しては一般入試より少しだけ文章が短いので、いかに本番までにリスニング力をつけられるか、が鍵を握ります。3教科目の数学は、一般入試とほぼ変わらない難易度でした。最後の教科ということで疲れもあり、問題を見てもなかなか解法が頭に浮かびません。推薦入試も一般入試と変わらず、答えるときは記述があります。焦らずに解ける問題を探しだし、ミス無く解いていくのがベストだと思います。

筆記試験終了後、すぐに面接に移りました。2回も面接があるので、とても緊張します。私は緊張しすぎて、面接官の先生に逆に励まされてしまいました(笑)。しかしこのエピソードでも分かるように、決して面接官は厳しくありませんし、見られているのは賢さではなく人間性です。事前に考えたような文を棒読みしたり、思ってもいないことを話したりするとすぐに見抜かれます。質問された内容に対し、素直な考えを述べるのが大切です。分からない場合は、きちんと「分かりません」というようにしましょう。(ちなみに、私は最初の質問から「分かりません」と答えました。)

推薦・一般ともにあと少しで本番です。私のこの受験体験記が、少しでも受験生の皆さんの役に立てれば幸いです。